

第3回 宮崎県河川整備学識者懇談会 ＝指摘事項と対応(五ヶ瀬川水系神代川)＝

1. 第2回学識者懇談会および住民説明会における
指摘事項、意見と対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 神代川のメダカの確認状況に関する表現・・・・・・・・・・2
3. 神代川で確認されたアカササゲについて・・・・・・・・・・3
4. 底生動物の表現について・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

開催日 : 平成28年3月30日 14:30~17:00

開催場所 : 附属棟 201号会議室

1. 第2回学識者懇談会および住民説明会における指摘事項・意見と対応

■五ヶ瀬川水系:神代川

懇談会における指摘事項と対応




NO.	指摘事項	対応内容	頁	備考
1	・歴史・文化の記載の最後に、高千穂郷・椎葉山地域が世界農業遺産に認定されたことを記載してほしい。	・歴史・文化の記載の最後に、高千穂郷・椎葉山地域が世界農業遺産に認定された旨を追記した。 →1.1(5)歴史・文化(整備計画本文p.4)に反映	資料-2 p.4	
2	・メダカが偶発的に確認されたと表現されているが、自然界に偶然はないので、表現を検討すべきである。	・表現を「出水時に水路等から流された個体もしくは、放流された飼育個体を確認されたものと考えられる。」と修正した。 →生物リストに反映 →河川環境検討シートに反映	資料-1 p.2	
3	・アカササゲが確認されているが、県北ではまだ確認されていないので、再度確認してほしい。	・環境調査会社へのヒアリング、個体写真及び最新の知見の確認より、アカササゲであると結論付けた。	資料-1 p.3	
4	・オオアメンボ等、底生動物としても昆虫類としても記載されている種があるので、注釈を入れる等書き方を検討すべきである。	・底生動物の備考として、昆虫類を含む旨を記載した。また、オオアメンボについては、河川水辺の国勢調査の生物目録に準拠した結果、昆虫類にも記載されている旨を備考に明記した。 →生物リストに反映 →河川環境検討シートに反映	資料-1 p.4	

住民からの意見と対応

NO.	指摘事項	対応内容	頁	備考
1	・住民の方からの意見はなかった。	—	—	—

2. 神代川のメダカの確認状況に関する表現

五ヶ瀬川水系 神代川

	下流部(合流～松能橋)	整備区間(松能橋～本組橋)	上流部(本組橋～)
代表的 景観			
河川構造	セグメント:1 自然河川	セグメント:1 コンクリート3面張り	セグメント:1 コンクリート3面張り
生物 生息生育場	<ul style="list-style-type: none"> V字谷に溪流環境 スギ・ヒノキ植林、山付き河岸 	<ul style="list-style-type: none"> 水深が浅い 農地・住宅地 	<ul style="list-style-type: none"> 水深が浅い 水田地帯
主な 生息生育 生物 (重要種)	<ul style="list-style-type: none"> 魚類:カワムツ、タカハヤ、ドンコ、<u>メダカ南日本集団※1</u> 底生動物:<u>ヒラマキミズマイマイ</u> 両生類:<u>アカハライモリ</u>、<u>トノサマガエル</u> 爬虫類:ヤマカガシ、シマヘビ 陸上昆虫類:<u>オオオサムシ</u>、<u>ウスイロシマゲンゴロウ</u>、<u>アオスジクモバチ</u>、<u>ニホンミツバチ</u> 鳥類:アオゲラ、<u>オオルリ</u>、カワガラス 植物:<u>ナガミノツルキケマン</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 底生動物:<u>ナカハラシマトビケラ</u> 両生類:<u>アカハライモリ</u>、<u>トノサマガエル</u> 爬虫類:<u>ニホンカナヘビ</u>、<u>ニホンヤモリ</u> 陸上昆虫類:<u>ゴイシジミ</u>、<u>オナガアゲハ</u>、<u>ヤマトスジグロシロチョウ本州以南亜種</u>、<u>ヤマトアシナガバチ</u>、<u>ニホンミツバチ</u>、<u>ハグロトンボ</u>、<u>ミヤマカワトンボ</u> 鳥類:<u>コシアカツバメ</u>、<u>セグロセキレイ</u>、クサシギ 植物:<u>ナガミノツルキケマン</u> 特定外来生物:<u>アレチウリ</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 魚類:カワムツ、タカハヤ、ドンコ 両生類:<u>トノサマガエル</u> 底生動物:<u>ヒラマキミズマイマイ</u>、<u>オオアメンボ※2</u> 鳥類:<u>ハイタカ</u>、アオサギ、セグロセキレイ 昆虫類:<u>オオアメンボ※2</u>、<u>ミヤマチャバネセセリ</u>、<u>ウスイロシマゲンゴロウ</u> 植物:<u>ナガミノツルキケマン</u>、<u>アカササゲ</u>、<u>ホソバオグルマ</u>
河川環境	<p>神代川の上流部～中流部はコンクリートの三面張りの単調な河川環境であるが、コンクリート底面に営巣するシマトビケラ類や、周辺の水田環境と合わせて生息するホソミイトンボ等の止水環境に生息するトンボ類や、トノサマガエル等のカエル類、市街地や草地に生息・生育する鳥類や植物が確認された。下流部は瀬・淵が連続し周辺は樹林地となるため、カワムツやタカハヤなどの魚類や、樹林性のアオゲラやオオルリなどが特徴的に確認された。</p>		
今後の河川環境 のあり方	<p>＜神代川の本来の姿への再生＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 川沿いの敷地を取り込んだ親水空間の整備、 土や岩石等を利用した河底と護岸の整備 瀬や淵の自然な形成を促す蛇行した低水路の整備、 水生生物、 植物が生息できるような河川断面や工法、材料の採用 植生による景観形成 <p>(神代川かわまちづくり計画書(宮崎県高千穂町、宮崎県西臼杵支庁、平成26年)より抜粋)</p>		

注)分類体系は基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(平成27年度版)」(水情報国土データ管理センター、2015年公表)に準じた。
 ※1本種の確認地点は本来の生息環境ではないことから、出水時に水路等から流された個体もしくは、放流された飼育個体が確認されたものと考えられる。
 ※2「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(平成27年度版)」(水情報国土データ管理センター、2015年公表)に準じているため、オオアメンボは底生動物、昆虫類双方に該当する。

3. 神代川で確認されたアカササゲについて

■神代川において、本年度調査時に確認されたアカササゲ(*Vigna vexillata* var. *tsusimensis*) (環境省レッドリスト:絶滅危惧IA類、宮崎県レッドリスト:絶滅危惧IA類)は宮崎県北部で確認事例があるか不明であったため、環境調査会社へのヒアリングと、最新の文献により同定結果を精査した。

(1) 環境調査会社へのヒアリング結果

- ・ササゲにやや似ているが、**全草に毛が生えており、茎や葉柄や花柄に褐色の毛が生えている。**
- ・同属のヤブツルアズキとは明らかに異なり、花は青紫色～褐紫色で大きく2.5～3.0cm程度。
- ・ヤブツルアズキの小葉は先端付近で急に鋭くとがるが、そのような特徴はない。
- ・**サクヤアカササゲやコチョウインゲン**は、アカササゲに似るが、**これらは国内では沖縄にしか生育しない。**

(2) 文献調査結果

- ・文献調査の結果、「改訂・宮崎県版レッドデータブック 宮崎県の保護上重要な野生生物」(宮崎県、2011)において、**高千穂町に生育**していると記載されている。

⇒**個体の特徴、文献調査結果より、引き続きアカササゲとして扱う。**



確認された個体



確認環境

4.底生動物の表現について

■本調査は、河川環境の整備と保全を適切に推進するための、基礎情報の収集を目的に行われている「河川水辺の国勢調査」のマニュアル(国土交通省水管理・国土保全局河川環境課、2015)に準じて実施している。

■河川水辺の国勢調査では、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(※)」に準拠することとなっている。

※河川水辺の国勢調査のための生物リストは下記の7項目について、それぞれ作成されている。

①魚類、②鳥類、③底生動物、④両生類・爬虫類・哺乳類、⑤動植物プランクトン、⑥陸上昆虫類等、⑦植物

■「**底生動物リスト**」には調査目的をふまえ選定された、**昆虫類**、**貝類**、**甲殻類**、**ゴカイ類**、**ヒル類**、**ミミズ類**等が含まれているが、一部「**陸上昆虫類等リスト**」記載種と重複している。

■そのため、本調査で確認された種のうち、重要種のオオアメンボを含む43種(トンボ類、ゲンゴロウ類など)は、底生動物および昆虫類の双方のリストに記載されている。

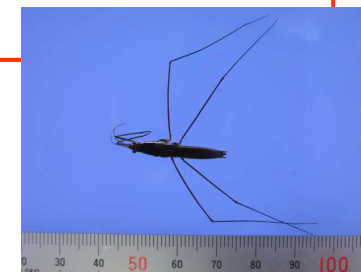
表 神代川における調査項目と準拠リスト

調査項目	準拠リスト
魚類	魚類リスト
鳥類	鳥類リスト
底生動物	底生動物リスト
両生類・爬虫類・哺乳類	両生類・爬虫類・哺乳類リスト
昆虫類	陸上昆虫類等リスト
植物	植物リスト

⇒以上をふまえ、調査結果には下記の通り備考を記載することとした。

『注)分類体系は基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(平成27年度版)」(水情報国土データ管理センター、2015年公表)に準じた。』

『注)底生動物確認種には昆虫類も含まれる。』



確認されたオオアメンボ
※同一個体を記録している。

《参考》

「底生動物リスト」、「陸上昆虫類等リスト」
に重複して記載されている43種

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	
1	昆虫綱	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	ヨシノコカゲロウ	<i>Alainites yoshinensis</i>	
2				フタバコカゲロウ	<i>Baetiella japonica</i>	
3				シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>	
4				ウスイロフトヒゲコカゲロウ	<i>Labiobaetis atrebatinus orientalis</i>	
5				トビイロコカゲロウ	<i>Nigrobaetis chocoratus</i>	
6				ウデマガリコカゲロウ	<i>Tenuibaetis flexifemora</i>	
7				ヒラタカゲロウ科	ウエノヒラタカゲロウ	<i>Epeorus curvatus</i>
8					ユミモンヒラタカゲロウ	<i>Epeorus nipponicus</i>
-					ヒラタカゲロウ属	<i>Epeorus</i> sp.
9					シロタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus yoshidae</i>
10		マダラカゲロウ科	エラブタマダラカゲロウ	<i>Torleya japonica</i>		
11	トンボ目(蜻蛉目)	カワトンボ科	カワトンボ科	<i>Calopterygidae</i> sp.		
12			トンボ科	ウスバキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>	
13			マユタテアカネ	<i>Sympetrum eroticum eroticum</i>		
14	カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	フサオナシカワゲラ属	<i>Amphinemura</i> sp.		
15	カメムシ目(半翅目)	アメンボ科	オオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i>		
16			アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>		
17			ヒメアメンボ	<i>Gerris latiabdominis</i>		
18			タイコウチ科	ミズカマキリ	<i>Ranatra chinensis</i>	
19	ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>		
20	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	ナミコガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche infascia</i>		
-			コガタシマトビケラ属	<i>Cheumatopsyche</i> sp.		
21			ギフシマトビケラ	<i>Hydropsyche gifuana</i>		
22			ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>		
23			ナカハラシマトビケラ	<i>Hydropsyche setensis</i>		
-			シマトビケラ属	<i>Hydropsyche</i> sp.		
24			クダトビケラ科	クダトビケラ属	<i>Psychomyia</i> sp.	
25			ナガレトビケラ科	ムナグロナガレトビケラ	<i>Rhyacophila nigrocephala</i>	
26			コエグリトビケラ科	コエグリトビケラ属	<i>Apatania</i> sp.	
27			ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>	
28			カクツツトビケラ科	コカクツツトビケラ	<i>Lepidostoma japonicum</i>	
29			エグリトビケラ科	ホタルトビケラ	<i>Nothopsyche ruficollis</i>	
30			ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	ウスバガガンボ属	<i>Antocha</i> sp.
31					ガガンボ属	<i>Tipula</i> sp.
32	チョウバエ科	チョウバエ科			<i>Psychodidae</i> sp.	
33	ユスリカ科	ケブカエリユスリカ属			<i>Brillia</i> sp.	
34		セスジユスリカ			<i>Chironomus yoshimatsui</i>	
-		ユスリカ属			<i>Chironomus</i> sp.	
35		エリユスリカ属			<i>Orthocladius</i> sp.	
36		ハモンユスリカ属			<i>Polypedilum</i> sp.	
37		ヒゲユスリカ属			<i>Tanytarsus</i> sp.	
38	ヤマトヒメユスリカ族	ヤマトヒメユスリカ族			<i>Pentaneurini</i> sp.	
-	ユスリカ亜科	ユスリカ亜科			<i>Chironominae</i> sp.	
-	エリユスリカ亜科	エリユスリカ亜科			<i>Orthocladinae</i> sp.	
39	ブユ科	アシマダラブユ属			<i>Simulium</i> sp.	
40	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	モンキマメゲンゴロウ	<i>Platambus pictipennis</i>		
-			ヒメゲンゴロウ亜科	<i>Colymbetinae</i> sp.		
41			ガムシ科	キイロヒラタガムシ	<i>Enochrus simulans</i>	
42			ヒメドロムシ亜科	ヒメドロムシ亜科	<i>Elminae</i> sp.	
43			ホタル科	ゲンジボタル	<i>Luciola cruciata</i>	
合計	1綱	8目	23科		43種	